

鳩山一郎「鳩山一郎書簡」

昭和15（1940）年9月2

日

面接仕候。凡て皆、新体制に
ついて不満を抱く様子に
候へ共、何人も公にするもの
なき折柄、君独り之れを
敢てせんとする。君の面目
躍如として眼前に見る
しか
心地致候。併し時は必ず来る
と確信致候間、君独り
槍玉にあがらぬ様に御注意
くだされたく
被下度候。

